

事業報告書

1 支援団体名	特定非営利活動法人嘉瀬川交流軸
2 事業名称	嘉瀬川ダム竣工10周年記念事業－第10回嘉瀬川ダム感謝祭－
3 実施日時	令和4年11月6日
4 実施場所	嘉瀬川ダムしゃくなげ湖周辺
5 事業目的、内容及びその効果	(事業実施状況・内容) 国交省・ダム受益市町・水源地域連携・活性化促進協議会(基金)・NPO法人等で実行委員会を結成し、「嘉瀬川ダム竣工10周年記念感謝祭」を嘉瀬川ダム湖畔広場中心に開催した。ダム竣工以来9回にわたって開催してきた神事・感謝祭式典・直来(交流会)、ダム堤体内見学会に加え、受益市町の展示・販売会、流域NPO団体等による展示・イベント、土木の日クイズ大会、ミスジャパン佐賀アテンド、ミニコンサート、ジョギング大会、アウトドアグッズの展示即売会、放流中の水門及びダム堤体へのプロジェクトマップ、花火打ち上げ等、今後ダム及びダム湖畔の利活用の候補となる各種イベントを実験的に実施し、今後の課題等を検証した。
	(事業実施効果) ダムをはじめとする土木構造物は、有効に機能しても「当然のこと」として受け取られ、注目を浴びることはない。ダム建設にあたっては地元には大きな負担をかけたことを改めて認識し、感謝する気持ちを表し続ける必要がある。今回10回目の感謝祭を実施できたことは、土木構造物に対する認識を高める効果があったことを確信している、加えて最近、ダム建設地の地域振興の一環としてダム及びダム周辺の新たな利活用が模索されている。水門からの観光放流、ダム堤体へのプロジェクトマップ、コンサート、マルシェ等を実施して効果と課題を明確にすることができた。
6 参加内訳	総人数 820名
	(1) 主催者参加 100名
	(2) 日本人参加((1)を除く) 700名
	(3) 外国人参加((1)を除く) 20名
7 今後の方針	ダム及びダム周辺の利活用に関する取り組みは地元富士町の各組織の企画により、国交省、佐賀市等が連携して取り組んでいくことになる。例えばダム放流の回数を10回は確保しておき、ダム貯水率等の状況を見て、適宜企画する等の取り組みが考えられる。また富士町ではこれまで古湯温泉で実施していた花火大会の会場をダム湖畔に移す案が検討されている。

感謝の辞：山口祥義佐賀県知事



感謝の辞：藤巻浩之九州地方整備局長



ダム堤体内見学会



ミスジャパン佐賀アテンド



土木クイズ



ダム堤体プロジェクションマッピング・花火

